

Syllabus Id	Syl.-08541
Subject Id	Sub-082004060
更新履歴	20080321 新規
授業科目名	総合英語 A General English A
担当教員名	能登路純子 (NOTOJI Junko)
対象クラス	物質工学科4年生
単位数	2単位
必修/選択	必修
開講時期	通年
授業区分	語学
授業形態	講義・演習
実施場所	C5 HR

### 授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

これまで身につけた英語の知識を、「基本文法」をベースとして、「使える英語」へと発展させることを主眼とする。教材は、将来国際社会で活躍する際の指標ともなっている TOEIC の対策問題を柱とする。基礎知識を確認しながら、それが実際に社会でどのように使われているのかを、現場でのダイアログをリスニング、ディクテーションすることにより、またビジネスレターや電子メール、日常目にする掲示や広告などをリーディングすることによって学び、英語によるコミュニケーション能力の素養を身につけるねらいもある。また、Writing の基となる基礎的英文法を再確認するために、即戦ゼミを使用する。その他、必要と思われる教材を適宜使用していく。

### 準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

高校卒業程度の基礎的な文法知識、読解能力

	Weight	目標	説明
学習・教育目標		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成

学習・教育目標の達成度検査	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。</li> <li>2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。</li> <li>3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。</li> <li>4. 実際の TOEIC の得点も、本講義の達成度の一部として考慮する。</li> </ol>
---------------	--

### 授業目標

TOEIC で 350 ~ 450 点を取る実力をつける。(大学新卒者平均: 470)  
TOEIC の演習, 即戦ゼミを通して、基礎英文法の知識を確実にする

### 授業計画 (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	前期オリエンテーション	授業概要、目標、スケジュール、授業の進め方、評価方法とその基準などの説明 TOEIC の内容についての説明	
第2回	基本文型	Chapter 1 At an Airport	
第3回	名詞の修飾	Chapter 2 At a Hotel	
第4回	文と文の接続	Chapter 3 On the Street	
第5回	知覚動詞と使役動詞	Chapter 4 At a Restaurant	
第6回	助動詞	Chapter 5 Shopping	
第7回	まとめ1	Chapter 1~5 の復習、質疑応答	
第8回	前期中間試験		
第9回	その他の助動詞・助動詞と完了形	Chapter 6 At a Bank	
第10回	時制	Chapter 7 Taking a Trip	
第11回	現在完了	Chapter 8 Seeing the Doctor	

第 12 回	前置詞	Chapter 9 Renting an Apartment	
第 13 回	To 不定詞	Chapter 10 Sports	
第 14 回	まとめ 2	Chapter 6 ~ 10 の復習、質疑応答	
第 15 回	前期末試験		×
第 16 回	後期オリエンテーション	授業概要、目標、スケジュール、授業の進め方、評価方法とその基準などの説明	
第 17 回	仮定法過去	Chapter 11 Job Hunting	
第 18 回	仮定法過去完了	Chapter 12 Talking on the Phone	
第 19 回	受動態	Chapter 13 Appointments	
第 20 回	動名詞・分詞構文	Chapter 14 Giving a Presentation	
第 21 回	関係代名詞	Chapter 15 Negotiating	
第 22 回	まとめ 3	Chapter 11 ~ 15 の復習、質疑応答	
第 23 回	後期中間試験		
第 24 回	関係副詞	Chapter 16 Meetings	
第 25 回	比較	Chapter 17 Business Performance	
第 26 回	名詞・冠詞	Chapter 18 Dealing with Complaints	
第 27 回	注意すべき名詞の数・数量形容詞	Chapter 19 Market Trends	
第 28 回	強調構文・倒置	Chapter 20 Parties	
第 29 回	まとめ 4	Chapter 16 ~ 20 の復習、質疑応答	
第 30 回	後期末試験		×

## 課題

各 Chapter の予習（内容は授業中に指示） その他授業中に指示したもの

## 評価方法と基準

### 評価方法

定期試験および小テストは、テキスト・配布プリント、実際の TOEIC 問題からの出題とする。TOEIC 受験の場合は、その点数（350 以上）も評価の対象とする。そのほか、授業に対する姿勢も考慮する。

### 評価基準

定期試験、小テストー70～80% 課題提出、予習状況、授業意欲 20～30% 学習達成度自己評価 若干

教科書等	Kick Off for the TOEIC Test（金星堂）1,950 円 + 税 即戦ゼミ（桐原書店）（購入済み）
先修科目	総合英語（1 年～3 年）英語 W、英語 C
関連サイトの URL	<a href="https://nct-na.numazu-ct.ac.jp/ANET2/">https://nct-na.numazu-ct.ac.jp/ANET2/</a> ALC NetAcademy 2
授業アンケートへの対応	授業の目標を明確にし、見やすい板書を心がける
備考	1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも 1 週間前に教科目担当教員へ連絡してください。